

問1 ある選挙において、有権者数が約150万人で定数が2人の選挙区Bと、有権者数が約65万人で定数が2人の選挙区Cがある場合を想定します。これら2つの選挙区における「1票の重み」の関係について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。

(2020年 熊本県公立入試 類似)

- |  |   |                                      |  |
|--|---|--------------------------------------|--|
| 1. 有権者数が少ない選挙区Cの方が、1票が当選に及ぼす影響が大きく、1票の価値が重い。 | 2. 有権者数が多い選挙区Bの方が、代表する人数が多いため、1票の価値が重い。 | 3. どちらの選挙区も定数が2人で共通しているため、1票の価値は等しい。 | 4. 1票の価値は定数を有権者数で割った値に比例するため、この場合は選挙区Bの方が重い。 |
|--|---|--------------------------------------|--|

問2 少子高齢化が進行する日本において、有権者の年代によって政治に求めるニーズは異なります。2016年の参議院議員通常選挙の際の意識調査では、18歳から30歳代までの層が「景気対策」や「子育て・教育支援」を重視したのに対し、60歳以上の層が最も重視し、投票の際に考慮した事項は何ですか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)

- |         |             |          |         |
|---------|-------------|----------|---------|
| 1. 景気対策 | 2. 子育て・教育支援 | 3. 医療・介護 | 4. 雇用対策 |
|---------|-------------|----------|---------|

問3 日本の議会政治において、内閣を組織し政権を担当する政党の呼称と、複数の政党が協力して政権を構成する形態の名称の組み合わせとして最も適切なものはどれか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)

- |              |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 与党 — 連立政権 | 2. 野党 — 連立政権 | 3. 与党 — 単独政権 | 4. 野党 — 単独政権 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|

問4 日本の選挙制度において、比例代表制でドント式が採用されている主な理由は、どのような民主主義の原則を実現するためですか。その背景や目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 和歌山公立入試 類似)

- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 1. 得票数に比例して議席を配分することで、死票を減らし、少数派の意見を議会に反映させやすくなるため。 | 2. 各選挙区で最も得票の多かった人物のみを当選させることで、政権を担う強力な政党を育成するため。 | 3. 得票数の多い政党に有利に議席を割り振ることで、小規模な政党が乱立して政治が混乱するのを防ぐため。 | 4. 立候補者個人の人気ではなく、政党の掲げる政策や公約に基づいて有権者が投票先を判断できるようにするため。 |
|---|---|---|--|

問5 国政選挙において、ある選挙区では有権者約20万人で1人の議員が選出されるのに対し、別の選挙区では議員1人を送り出すために約40万人以上の有権者が必要となる場合があります。このように、選挙区ごとの有権者数の違いによって、国民が持つ一票の政治的な価値に不平等が生じている状態を何といいますか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

- |          |                |            |          |
|----------|----------------|------------|----------|
| 1. 一票の格差 | 2. 小選挙区比例代表並立制 | 3. 政党助成金制度 | 4. 死票の増大 |
|----------|----------------|------------|----------|

問6 日本の国政選挙で導入されている比例代表制は、各政党の総得票数に応じて議席を配分する仕組みですが、この制度を採用する主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)

- |                               |                             |                                |                                  |
|-------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. 死票を減らし、少数意見を議席に反映させやすくするため | 2. 特定の政党が安定した多数派を形成しやすくするため | 3. 候補者個人の知名度や人柄を最優先で選べるようにするため | 4. 選挙区を細かく分けることで、地域密着型の政治を実現するため |
|-------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|

問7 日本では、第二次世界大戦後の1946年に行われた選挙から有権者の割合が急増しました。この時、新たに確立された参政権の条件として正しいものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)

- |                  |                |                  |                           |
|------------------|----------------|------------------|---------------------------|
| 1. 満20歳以上のすべての国民 | 2. 満25歳以上の男子のみ | 3. 満25歳以上のすべての国民 | 4. 直接国税15円以上を納める満25歳以上の男子 |
|------------------|----------------|------------------|---------------------------|

問8 衆議院議員選挙における有権者の投票方法と、その仕組みについて説明したものととして、正しい内容を選びなさい。 (2017年 大分県公立入試 類似)

- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 1. 有権者は「候補者名」を記入する票と、「政党名」を記入する票の、合計二票を投じる。 | 2. 有権者は一人の「候補者名」のみを記入し、その得票に応じて政党の議席も自動的に決定される。 | 3. 有権者は「政党名」のみを記入し、その政党が事前に届け出た名簿順に当選者が決まる。 | 4. 有権者は一つの選挙区から複数の候補者を選び、それぞれの「候補者名」を記入して投票する。 |
|---|---|---|--|

問9 衆議院議員選挙で採用されている「小選挙区比例代表並立制」のうち、小選挙区制を導入することの主な目的や政治的背景として最も適切な説明を選択してください。 (2025年 栃木県公立入試 類似)

- |   |  |                                       |  |
|---|--|---------------------------------------|--|
| 1. 最多得票者1名のみが当選することで、大政党に有利な状況を作り、政権を安定させやすくする。 | 2. 得票率に応じて議席を細かく配分することで、少数意見を議会に反映させやすくする。 | 3. 全国の有権者が一人の代表者を選ぶことで、地域間の格差を完全になくす。 | 4. 得票数が2位以下の候補者の票（死票）を有効に活用し、議席の偏りを防ぐ。 |
|---|--|---------------------------------------|--|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 有権者数が少ない選挙区Cの方が、1票が当選に及ぼす影響が大きく、1票の価値が重い。	1票の重み（価値）は、「議員1人あたり何人の有権者を代表しているか」で計算されます。選挙区Cでは議員1人あたり約32.5万人を代表するのに対し、選挙区Bでは約75万人を代表することになります。代表する人数が少ないほど、その1票が選挙結果（当選）に与える影響力が大きくなるため、結果として「1票の価値が重い」と表現されます。このように選挙区間で不平等が生じている状態が「一票の格差」です。
問2	<b>答え 3</b> 医療・介護	日本の少子高齢化社会において、社会保障制度の維持は喫緊の課題となっています。特に自身の生活に直結する福祉サービスへの関心が高い60歳以上の高齢者層は、選挙において医療や介護の充実を最も重視する傾向にあります。これに対し、若年層や現役世代は将来への不安から経済状況や子育て環境の整備を優先する傾向があり、年代間で政治的課題の優先順位に顕著な差が生じています。
問3	<b>答え 1</b> 与党 — 連立政権	国会で内閣総理大臣を指名し、内閣を組織して実際に政治を行う政党を「与党」と呼び、それ以外の政党を「野党」と呼びます。一つの政党が単独で政権を担当する場合もありますが、現代の日本のように複数の政党が政策の合意などを通じて共に政権を担う形態は「連立政権」と呼ばれます。
問4	<b>答え 1</b> 得票数に比例して議席を配分することで、死票を減らし、少数派の意見を議会で反映させやすくするため。	比例代表制は、政党の得票数に応じて議席を割り当てる制度であり、1位以外の候補者への投票が無駄になる「死票」を抑える効果があります。ドント式はその具体的な計算手法の一つであり、得票の割合をできるだけ忠実に議席数に反映させることで、多様な国民の意見を議会に送り込むことを目的としています。これに対し、特定の人物を選ぶ小選挙区制は、政権の安定や二大政党制を促す傾向があります。
問5	<b>答え 1</b> 一票の格差	日本国憲法は「法の下での平等」を定めており、選挙においても一人ひとりの一票の重みが等しいことが原則です。しかし、都市部への人口集中などにより、議員1人あたりの有権者数が選挙区によって大きく異なる現象が起きています。この不平等な状態を「一票の格差」と呼び、最高裁判所によって「違憲（憲法違反）状態」と判断されることもあります。
問6	<b>答え 1</b> 死票を減らし、少数意見を議席に反映させやすくするため	比例代表制は、小選挙区制に比べて当選に結びつかない「死票」が少なくなる特徴があります。政党の得票率に応じて議席を分担するため、小規模な政党であっても議席を獲得できる可能性が高まり、結果として議会に多様な国民の意見（少数意見）を届けることができます。
問7	<b>答え 1</b> 満20歳以上のすべての国民	1945年の選挙法改正により、それまで認められていなかった女性の参政権が認められるとともに、選挙権が得られる年齢が満25歳以上から満20歳以上へと引き下げられました。これにより、性別や納税額を条件としない「普通選挙」が日本で完全に確立されました。なお、2016年からはさらに年齢が引き下げられ、現在は満18歳以上の国民に選挙権が与えられています。
問8	<b>答え 1</b> 有権者は「候補者名」を記入する票と、「政党名」を記入する票の、合計二票を投じる。	小選挙区比例代表並立制では、有権者は二つの異なる投票用紙を受け取ります。小選挙区用には「候補者名」を、比例代表用には「政党名」をそれぞれ記入して投票します。なお、参議院の比例代表選挙では、政党名だけでなく候補者名でも投票できる点が衆議院との違いです。
問9	<b>答え 1</b> 最多得票者1名のみが当選することで、大政党に有利な状況を作り、政権を安定させやすくする。	小選挙区制は、一つの選挙区から当選者が1名だけ選ばれる仕組みです。この制度では、第1党などの大きな政党が議席を独占しやすくなり、その結果として議会の過半数を確保しやすくなるため、政権の安定につながるという特徴があります。一方で、当選者以外に投じられた多くの票が死票（議席に結びつかない票）になりやすく、少数意見が切り捨てられるという課題も存在します。そのため、それらを補う形で比例代表制が並立されています。